

平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	経済部	記入責任者	朝倉 利之
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>産業振興課の業務計画に位置付けられた重点事業である企業の誘致・立地への支援及び茅ヶ崎市観光振興ビジョン推進事業、農業水産課の農業経営基盤強化促進法による認定農業者・農地利用集積事業、雇用労働課の勤労者福祉サービスセンター事業については、目標値を下回っており、それぞれ目標値に対して27%、42%、62%、69%であったことからC評価としています。</p> <p>経済部の業務計画に位置付けた事業では、23事業のうち、指標を達成しているS評価及びB評価が16事業、その他成果が上がっているA評価が3事業あることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、C評価が4事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、適正な進捗管理や手法等の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C評価とした企業の誘致・立地への支援については、景気の動向を受けやすく手続き期間の制約があったこと、茅ヶ崎市観光振興ビジョン推進事業については、ふるさと納税制度を活用した観光プロモーションであるが制度の登録事業者が想定より少なかったこと、農業経営基盤強化促進法による認定農業者・農地利用集積事業については、担い手の高齢化や手続きが煩雑であること、勤労者福祉サービスセンターについては、継続的な説明が必要であり事業者の参加までに時間を要することに、原因や課題があると分析しています。</p> <p>また、経済部では、業務計画の重点事業である産業振興課の道の駅整備推進事業や、拠点整備課の萩園地区産業系市街地整備事業をはじめ、大型の事業が本格的に動き出していることから、適切なスケジュール管理と事業手法の検討、人員確保等が課題となっています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきますが、費用対効果や地域活性化に寄与する度合い等を検証した中で、個別の事業について適宜見直しを行います。</p> <p>具体的には、産業振興課の特定退職金共済掛金支援事業、農業水産課の農道・用排水路維持管理事業、雇用労働課の就職活動支援事業や勤労者福祉事業、拠点整備課の辻堂駅西口周辺整備事業については、事業の効率化や手法の見直し等、それぞれの事業に応じた検討を進めます。</p>			